

紙リサイクル・啓発リーダー育成プログラムモデル

～大学生との共創による、持続可能な啓発体制の構築に向けて～



2025年 月 日

目次

- ① 提案モデルの背景と社会的意義
- ② プログラム概要イメージ
- ③ ステークホルダーとのWin-Win 関係構築
- ④ ガクチカの観点から
- ⑤ 認定証、終了証、感謝証のフレーズイメージ例
- ⑥ 本提案への思い

(参考) 学生の活動キャッチコピーイメージ例

雑がみさまを探せ！ (雑がみ回収促進社会実験)

1. 提案モデルの背景と社会的意義

現在、古紙再生促進センターでは、「雑がみ」をはじめとした可燃ごみ中の資源の掘り起こしに注力しているが、啓発活動の担い手不足が、継続的課題となっている。

需給両業界の人出不足、多忙化、高齢化、地域ボランティア基盤の弱体化が進む中、次世代人材による「持続可能な啓発組織力」の構築が急務である。

一方で、大学生の社会的関心は高く、SDGs・地域貢献・ガクチカ（就職活動に活かせる経験）といったキーワードに強い関心を持っており、社会課題解決型の実践機会を求める傾向がある。

未来社会の担い手となる、若者世代（α・Z世代）の関心を、啓発活動に戦略的に取り込むことで、双方向の価値創出が可能である。

「学び」と「社会貢献」を両立させた啓発活動プログラムモデルを立ち上げ、紙リサイクルの未来を担う「人づくり・地域づくり・業界づくり」を同時に進める。

2. プログラム概要イメージ

- 第1回 基礎講義：紙リサイクルの現状と課題
(古紙センター、需給両業界、対面・オンライン・オンデマンド)
- 第2回 古紙集荷・選別・加工、製紙、自治体施設等の現場見学
(古紙問屋、製紙会社、自治体清掃事業担当部署)
- 第3回 啓発アイデア・ワークショップ・啓発ツール制作
(雑がみさまを探せ！を中心に学生の自主性)
- 第4回 実地啓発活動 市民イベント・学園祭・スポーツ、フェア、出前授業
(雑がみさまを探せ！を中心に学生の自主性)
- 第5回 成果発表・振り返り・認定証、終了証、感謝証、表彰状、アワード
(全関係者合同イベントとして開催、対面・オンライン)

3. ステークホルダーとのWin-Win 関係構築

大学・学生

地域貢献・実地経験（ガクチカ）、企業・行政との接点、社会的評価、単位認定の可能性

自治体

可燃ごみ削減、財政負担軽減、地域啓発への持続的関与、行政評価の向上

地域住民・小中高大・消費者

啓発を通じた生活習慣の変化、リサイクル行動への納得感、地域コミュニティ活性化

商業施設・地元企業・スポーツ団体

環境配慮の実践の場としての提供、地域ブランドイメージ向上、学生との協働広報

製紙メーカー

サステナビリティ広報、CSR強化、次世代消費者との接点、新規人材発掘の場

全原連・日資連（古紙回収業者・問屋）

自社業務や役割の可視化、地域理解の促進、信頼関係の深化

古紙再生促進センター

啓発担い手不足の補完、若年層への啓発波及、新たな発信力獲得（SNS・動画等）

4. ガクチカの観点から

社会組織のボランティア活動への一般的な評価ポイント

学生が何を学び、どんな成果を出し、それを社会とどう接続したか、を重視
本活動は、CSRやSDGs人材に関心の高い企業や、自治体・団体に訴求性、希少性

- ・ 貢献性 「地域・環境への社会貢献」が明記されている
- ・ 主体性 「自ら考え、行動し、成果を挙げた経験」を具体的に記載
- ・ 継続性 活動期間・実施内容の詳細があり、断片的でない
- ・ 再現性 他活動への応用可能性がイメージできる実務体験型
- ・ 第三者証明性 公益法人名義で発行され、信頼性が担保されている（デジタル認証）

5. 認定証、終了証、感謝証のフレーズイメージ例

・あなたは、紙リサイクルの意義を広く市民に伝えるための啓発活動において、真摯な姿勢と主体的な行動力をもって取り組まれ、地域社会と持続可能な未来づくりに大きく貢献されました。その尽力に心より感謝の意を表しますとともに、今後ますますのご活躍を祈念いたします。

・あなたは「紙リサイクル啓発リーダー育成プログラム（全5回）」を修了し、地域における資源循環の重要性を学び、市民への普及啓発活動に貢献されました。ここにその成果を認め、紙リサイクルの担い手としての修了を証します。この認定は、持続可能な社会づくりに資する人材育成の一環として行われたものであり、今後のさらなる活躍に大いに期待するものです。

・あなたは、紙リサイクルの未来を拓く啓発活動において、「自ら学び、考え、伝える」という姿勢を貫き、地域の人々とともに、環境と社会のつながりを再発見する貴重な実践を成し遂げました。あなたのこの小さな一歩は、単なる啓発にとどまらず、資源の循環、人の共感、地域の未来を動かす大きな一歩です。私たちはあなたのその一歩を、心から誇りに思います。感謝の気持ちを込めて、ここにその歩みを讃えます。

5. 認定証、終了証、感謝証のフレーズイメージ例

- ・活動認定証明書（実践型環境啓発活動）

【本文】

氏名：〇〇〇〇 殿

あなたは、当センターが実施する「紙リサイクル啓発リーダー育成プログラム」において、以下の項目に取り組み、一定の成果を収めましたことを証します。

【活動概要】

- 活動期間：令和〇年〇月～〇月（全5回構成）
- 主催：公益財団法人 古紙再生促進センター
- 目的：地域住民への資源循環・紙リサイクル啓発活動の実践
- 内容：講義受講、リサイクル施設見学、啓発ツール制作、現場活動、報告プレゼン等
- 活動成果：地域イベントでの啓発ブース設計と運営、啓発ツール発表、活動レポート
優秀賞受賞

あなたのこの取組は、地域循環型社会の実現に向けた社会的に意義ある実践であり、また、自ら課題を捉え、考え、行動し、社会と協働した成果として高く評価されるものです。

6. 本提案への思い

この取り組みは、単なるイベント型ではなく、多様なステークホルダーが共創し、持続可能な地域啓発システムを社会に実装する試みである。

紙リサイクルの未来を、次世代とともに築くこのモデルは、以下の副次効果を生み出す可能性を秘めている。

(順不同)

- 資源循環社会への移行を支える「人づくり」
- コミュニティに根ざした「地域づくり」
- 持続的啓発基盤を担保する「業界づくり」
- 学生啓発チームの常設化（例：Recycle Ambassadors ○○）通じたイベント企画やSNS発信など、啓発活動の主導役へ
- 地域拠点大学と連携したおける単位認定型の連携プログラム化、「環境共生学」、「地域デザイン学」などの講座と接続
- 環境学系以外の学生（教育、経済、デザイン、情報など）との学際的連携
- 他都市展開ネットワークを視野に入れたモデル化

大学生を中心とした持続可能な啓発組織の構築は、紙リサイクル業界にとって単なる人材確保に留まらず、「未来世代との共創」という新たな価値形成である。地域、業界、若者の三方良しの仕組みづくりとして、本提案の早期実現が期待される。

(参考) 学生の活動キャッチコピーイメージ例 (順不同)

未来共創リーダーズ・プログラム

～ 大学生と築く、地域発・持続可能な紙リサイクル啓発体制～

リサイクル・キャンパス・アクション

～ 若者の力で広げる、雑がみ啓発と循環型社会の未来～

紙リサイクル啓発ラボ

～ 大学生×地域×業界が生む、新しい啓発モデルの社会実装～

Re:think PAPER, Re:connect SOCIETY

～ 紙を見つめ直すことが、地域と未来をつなぎ直す～

サステナブル啓発リーダー養成プログラム

～ 紙リサイクルの最前線を、学生の実践力で切り拓く～

ごみから学ぶ、地域から変える。

～ 大学生とつくる紙リサイクル啓発の新しいカタチ～

循環の子カラ、未来の子カラ。

～ 学生の情熱が動かす、紙リサイクル啓発の次世代モデル～

つたえる、ひろげる、かえる。

～ 学生とともに進める、紙リサイクルの共感型啓発アクション～

地域を動かすエコ・ナビゲーターズ

～ 紙ごみの未来を切り拓く、学生主導の啓発アクション～

Re-PAPER PROJECT

～ 再び紙へ、再び社会へ。学生とつくる循環のストーリー～

紙資源循環啓発人材育成プログラム

～ 大学生と共に築く、地域・業界連携型・持続可能な啓発体制～

地域啓発担い手育成事業 (紙リサイクル分野)

～ 公益法人・自治体・大学連携による社会実装型モデルの構築～

かみのたび、ぼくらのまち

～ 雑がみから始まる、学生と地域のエコものがたり～

RE:think PAPER, RE:build FUTURE.

～ 紙を見つめ直すことが、未来をつくることだった～

Ecoリーダーズ・チャレンジ for PAPER

～ 若者の声と行動で変える、リサイクルの未来～

かみコンパス - 学生が拓く、地域と資源の未来図

～ 雑がみをヒントに、まちの循環と自分の未来を描く～

(参考) 雑がみさまを探せ! (雑がみ回収促進社会実験)

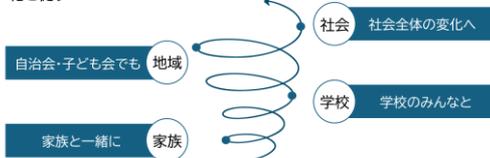
目的

雑がみの認知度向上並びに分別・回収の習慣づけを目的とした啓発活動
⇒ 幼少期(学童期)からの分別習慣の効果は大きく、未来にわたって環境配慮行動を行う人材育成につながる



目的

子どもを発信源として家族と一緒に取り組むことで、同居する親世代の意識変化を促す



「子どもを変えていくことで親を変え、社会を変えていく」

効果(自治体・業界)

可燃ごみに捨てられる雑がみ回収促進を進めることで、可燃ごみの削減や新たな製紙原料の確保につながる



「雑がみさまを探せ!」は、いかにして子供たちに家庭での雑がみ分別に誘導するかを、大阪大学大学院経済学研究科・松村真宏教授(仕掛学)と当センターが連携する新たな試み。

仕掛学のアプローチとは、正論(従来の正攻法)で解決しなかった社会課題を正論は使わずに参加者(小学生)が興味を持ちそうな「仕掛け」を利用することで、結果的に望ましい行動を実現し、その後も親世代を絡めて、家族で継続しやすい仕掛けを狙う。

子供達への「仕掛け」コンセプト
紙=カミ(神) ⇒ 家庭の中には、神(紙)様・「雑がみさま」が宿っている。

啓発紙袋



表面



裏面



(参考) 雑がみさまを探せ! (雑がみ回収促進社会実験)

啓発チラシ

雑がみさまを探せ!

「雑がみ」に困る小さな皆さま

ぜひペフ 不明
初んれい! じつは2000年以上生きていらしい…
ひみツ 頭の上のっているのは古紙(こし)で、これがないと元気がなくなるんだとか…

雑がみさまを救え!
 紙箱や学校からのプリント、紙の芯などは「雑がみ」と言うリサイクルができる大切な資源です。しかし今、たくさん雑がみがごみとして燃やされています。みんなの力を合わせて燃えるごみの中から雑がみを救い出そう!

①さがす
 目のまわりにある「雑がみ」を探そう!

②あつめる
 みつけた紙はもらった紙袋に入れて集めよう!

③捨てる
 紙を袋に入れたら資源回収に出そう!

※集めた雑がみはお住いの地域の分別区分に従って排出してください

あつめる紙はこれだ!

- 《紙箱》
 - おかし箱
 - ティッシュ箱
 - おもちゃ箱など
- 《プリント》
 - 学校からのプリント
 - コピー用紙
 - 取付済みチラシ
- 《紙の芯》
 - トイレットペーパーの芯
 - ラップの芯
- 《包装紙ロビ》
 - 使ったノート
 - 紙製のファイル
 - 包装紙など…

混ぜてしまうと困る紙たち

紙は紙でもリサイクルできない紙があります。それが「禁忌品(きんきひん)」です。これらが混ざると大きな問題になります!

レジート 汚れてしまうと新しい紙に染み点が出てしまうよ!
防水加工された紙 リサイクルするとき、水で分解できなくなるよ!
油はどて汚れた紙 油や食べかすがまざると紙の品質が悪くなるよ!
においの付いた紙 臭くできた紙ににおいが移ってしまうよ!
写真 よくべつな紙だからリサイクルできないよ!

あつめられた紙たちはどうなるの?
 あつめられた雑がみは工場に運ばれて、新しいおかし箱やティッシュ箱、トイレットペーパーや段ボールなど、新しい紙の製品に生まれ変わります。そうして雑がみはまたを愛してみんなのもとへ帰ってくるのです。

ぜひご協力ください
 家庭から出ているごみの約3割がリサイクルできるはずの紙だったという調査結果があります。自治体におけるごみの処理費用削減やCO2排出量削減のためにも、可燃ごみに捨てられている「雑がみ」を回収・分別しリサイクルすることが大切です。雑がみ回収へのご協力よろしくお願いいたします。

この活動は大阪大学大学院経済学研究科 松村真宏教授(仕掛学)との連携によるものです。公益財団法人 古紙再生促進センター